

今号のトピックス ■伊藤科研費 PT さらなる分析 ■認定インストラクターより：藤枝さん

伊藤科研費 PT コロナ禍調査さらなる分析に向け、再始動

先月の燈火ニュースで報道した、5月27日のプレスリリースの、「コロナ」臨時休校中の小学生メディア接触実態調査報告～小学生のオンライン学習／ゲーム・疲労度の関係～の続報です。「速報」では、13項目ある質問事項のうち、質問12「休耕期間中のお子さんの健康状態について」を身体的な疲労要素と不機嫌・活力低下要素とに分け、メディア使用時間等との関係性について分析した結果報告でした。この速報は、調査終了から記者会見までの間がわずか3週間弱ととても短く、そのほかの実態の精査等を十分行うことができませんでした。

そこで「速報」でお伝えしなかった他の質問項目での関係性について再分析するため、プロジェクトに小委員会を設置し継続して分析することになりました。再分析をして明らかとなった事柄は、今後の燈火にてお伝えしたいと思います。（小委員会チーフ：ウッド一美）

「子供たちの健やかな発達を守るために」

認定インストラクター藤枝奈保子

私は内閣府の補助金で運営される企業主導型保育園に勤務しており約40人の保育士の育成や保護者対応をしております。全ての保育園は、「保育所保育指針」を基盤に運営されておりますが、その指針が2018年に10年ぶりの改訂となりました。子どもが健やかに育つためには「健康、人間関係、環境、言葉、表現」の五領域が重要だと明言されています。「燈火」をご覧になっている皆様方なら現在のこの五領域が危ういと推測して頂けると思います。登園時に「ア〇〇〇の動画を昨夜は楽しそうに観ていて寝るのが遅くなり今朝は機嫌が悪いです」と1歳児のクラスから聞こえてきます。乳幼児の子ども達はどのようにして育てて行くのでしょうか？それはほぼ親や周りの大人たちの真似をすることによってです。ままごと遊びに夢になるのも大好きなお母さんのように料理を作ったりしたいからです。

「幸災樂禍」という熟語（他人の不幸を喜ぶこと）がありますが、今はSNSでその現象が溢れています。ある番組では、SNSの誹謗中傷で自殺者まで出していました。大人達がそうなので、子ども達が真似をして楽しむのも当然です。子供の発達には、愛情、自然、適切な睡眠と食生活が欠かせませんが現状では周りの大人たちにその環境が守れるようにある種の覚悟が必要だと思います。その思いを込め研修用のスライドも作成しました。

今後は沢山の専門家の方のお話に耳を傾け身近な保護者や保育士に大切なことを伝えて行きたいです。

あるミセスの大会で、子育てへの思いをスピーチし、偶然世界大会への出場権を得ました。（コロナで延期）

世界の子育ても参考に学んで行きたいと思っております。今後ともご指導宜しくお願い致します。

緊急 「ギャンブル等依存症予防・生徒向け啓発資料（文科省作成）」からゲーム依存症が消えた！ 山田太郎
参議院議員の圧力が発覚 許されない教育活動への不当な介入。
<https://www.net-kenkou-youseikyo.com/>
参照



藤枝さん提供